



みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか？
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、
人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介して
いきます。

取材先

◇休泊地区 太田市グラウンドゴルフ協会休泊支部 「25周年記念大会」

コロナ禍での開催に至った経緯について

大会当日のあいさつで、支部長の永原胤明さんは、
こう話してくれました。
緊急事態宣言中という事もある一度は中止という
判断をしたが、会員の人たちから「コロナ禍で人と
話していない」「ずっと楽しみにしていたので開催
して欲しい」との声が多く寄せられ、「会員同士の
つながりを切らせたくはない」という気持ちから、
コロナ対策を取り、招待者も最小限に抑え、参加者
も7月末には2回目のワクチン接種を終えているこ
とから、役員の皆さんと協議した結果、大会を開催
することになった。

～たくさんの出会いに感謝～



当日参加者76名の中で最高齢者

遠藤幸雄さん（89才）

実家は農家で72才まで続けていた。その傍ら不動産業もしていて、
この仕事は最近登録更新を済ませいまだ現役。グラウンドゴルフは73
才から始め、若い人達との交流が楽しみ。身体を動かすことが本来の目
的でなく皆と世間話をするのが大切だと思っている。

昔は隣近所でお茶飲み付き合いもあったが、いまは生活習慣も変わり
近所のことが分からない。いまこそ昔のような近所付き合いが必要だと
感じている。

私はまだまだやりたいことがあるので、100才までは元気で生きて
いたい。年をとっても時間がたつのは早いものだと感じている。



休泊八木節愛好会・休泊チンドン・クラブの会長さん

中村康美さん（70才）

地域の活動や役割を数多く担ってきた中村さんは、人に勧められたり頼
まれたりしても断らず続けてきた。苦労は多いがその代わりに地域の人た
ちにたくさんのことを教えてもらい、自分も成長できていることが良か
ったと感じている。沖之郷で昔から行われているお祭りでは保存会の役員で
子供たちにお囃子を教え伝えている。子供たちも学年関係なく交流するの
で、学校でも仲がいい。「子どもたちに自分のハートが伝わっている」と
嬉しそうに語る。



つながるポイント

- ・大会主催者側が、人と人とのつながりの大切さを理解している。
- ・コロナ禍でも対策を取りながら集まれる場所を作ることが、会員同士の見守り、つながりを切らさないきっかけになる。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



大会には奥さんと二人仲良く参加
岸部 孝さん（84才）



下小林町一区にお住まいで、奥さんと子供夫婦、お孫さんの5人暮らし。肺気腫を患い入院をしていて、今回は半年ぶりの参加。60才まで宮津製作所で働き70才までの10年間は中曽根議員の事務所で働いていた。

趣味はメダカの飼育と35年間俳句を作り続けている。一日で多い時は10句つくりノートには1000句ほど書き溜めてある。

10年前の東日本大震災の際、自家用車を100万円ほどかけて修理し、使う人のためにキレイにしてから寄付をした。それをきっかけに自分の運転免許も返納した。いまは自転車や奥さんの車で館林市の城沼公園へ行っ

て自然を見ながら俳句を楽しんでいる。
心掛けていることは「今を大事にハツラツと」涙していても同じで何も変わらないので、常に楽しくポジティブに考えるようにしている。
人生で得た「つながり」は、一生大事にしていく。

「このような大会を開催してくれて、呼んでくれて、ありがたい」
春山愛子さん（86才）



茂木町で息子夫婦と孫二人の5人暮らしの春山さんは、コロナ禍で人と会って話をする機会が減っている中で、皆さんと会える機会を与えてもらい感謝していました。

近所に同年代の方がいないので交流があまりできないが、家の近くにある畑で作った野菜をお寺さんなどにお裾分けをしたりしている。

足や体のいたるところに痛みはあるが、健康のために歩くだけでなく自転車に乗ってあちこち移動したり、畑やグラウンドゴルフも可能な範囲で楽しみながら行っている。

今回も休泊地区で元気な皆さんのお話をたくさん聞くことができました。有難うございました。

コロナ禍で会員はもちろんのこと友達にすら会いずらく、住民同士の交流が絶たれている中で、元気がなくなってきている会員の皆さんのために、勇気をもって開催を決断されたことは素晴らしいことであり、つながりを切らさないためのきっかけになっています。

実際、参加者の皆さんからも「開催してくれて良かった」、「久しぶりに人と顔を合わせて会話をした」などの声も聞こえてきました。

電話やSNSなど使って、つながりを切らさない工夫をする必要もある反面、人と人とが顔を合わせて話ができる環境を絶やさないことも「心のケア」として大切なことだと感じました。

お宝情報を募集中!「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで!



詳しくはこちら



ありがとうございました

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032